

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	松尾, 直方
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1947
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.40, No.3 (1947. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19470301-0064

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

戦災に依り崩壊した都市の復興は現下の急務であり、殊に東京の如く、政治・経済・文化の中心地の復興は一日も忽せにすることは出来ぬ。然し、如何なる規模に再建せしむべきか、其の具體的内容に關しては異論の多い所であるが、都市計畫は單に都市面のみではなく國王計畫全般と密接な關聯の下に立案され實施されなければならない。勿論、都市には独自の性格と機能があり、その社會學的な面も十分考察さるべきである。従來、都市が農村に比し偏重されてきた傾向は否定出来ぬが、我が國の所謂過大都市は日本經濟、乃至は文明の跛行的性格の生んだ一つの縮圖でもあつた。我々は之を是正し、適度にして健康なる都市を建設しなければならぬが、單に人口減少、乃至は人為的規制のみを以つて事足れりとする事は出来ない。問題は其の基準を何處に求め、何を以つて適度なりとするかである。

奥井博士の「大都市人口の規制」は大都市人口構成の素因を解明し、人口群決定の經濟・社會的根柢條件を土地の持つ經濟力とされ、之を二つの要因に分け、更に都市の機能を分析されてゐるが、此の論文は大都市の人口が如何にあるべきかの基柢を示すものとして、今後の博士の社會學的検討と共に都市論上大なる光を放つものであらう。

(松尾直方)

昭和二十二年二月二十五日印刷 第四十卷
昭和二十二年三月一日發行 第三號

禁轉載

本號定價 金拾圓
送料 一圓二十錢
東京部港區芝三田慶大總務部內
發行所 高村象平
東京部港區芝三田慶大
印刷所 川口芳太郎
帝國印刷株式會社
印協會員東京一〇一

預約購讀料

一年分 金百圓(送料共)
半年分 金五十圓(送料共)

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい
誌代變更の場合は精算決済致します

編輯に關する用件は發行所へ
營業に關する用件、購讀申込は發賣所へ願ひます

發行所 東京部港區芝三田三丁目慶應義塾大學總務部研究室内

慶應義塾經濟學會

發賣所 東京部港區芝三田二ノ一
日本出版協會會員A一〇一九

慶應出版株式會社

郵給元 東京部港區芝三田二ノ一 日本出版配給株式會社

慶應義塾經濟學會

論說

社會の進化と倫理……………氣賀健三(一)

唯物史觀に於ける「生産方法」・「生産力」の問題……………平井新(七)

資料

荷戸政以の「通言」……………野村兼太郎(五)

三田學會雜誌

第四十卷 第四號